

今、この時の子どもたちへ。贈るつながりのカタチ。

令和2年度

福祉教育推進校助成金 交付のてびき



【お問い合わせ先】

社会福祉法人高島市社会福祉協議会
高島市新旭町北畑 45-1 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
☎0740-25-5730（地域福祉課）



高島市社協 HP

【お近くの社協窓口はこちら】

地域	施設名	住所	電話
マキノ	はあとふるマキノ	マキノ町新保 1095 番地	27-1700
今津	えがお屋本舗上弘部店	今津町上弘部 438 番地 2	28-7525
今津	デイサービスセンターしふくの杜	今津町桂 830 番地 1	22-8211
朽木	はあとふる朽木	朽木市場 593 番地 1	38-8000
	寄り合い処「くつつき」(金曜のみ)	朽木市場 324 番地	—
安曇川	安曇川デイサービスセンター	安曇川町田中 555 番地	32-2133
高島	高島総合健康福祉センター	勝野 680 番地	36-8222
新旭	新旭総合福祉センター やすらぎ荘	新旭町北畑 45 番地 1	25-5730

～この助成金の財源は社協会費です。～

福祉教育推進校助成金 交付のてびき



目 次

	ページ
～社協会費からの助成金～	
◆福祉教育推進校助成金	
1. 助成の目的	2
2. 助成対象の団体	2
3. 助成の対象となる活動	2
4. 助成の額	2
5. 助成の財源	2
6. 新型コロナウイルス感染対策について	3
7. 助成金返金・活動計画の変更	3
8. 提出期限	3
9. 助成交付の流れ	4
◆申請書等の記入例	
申請・請求書	5～6
実績報告書	7～8
付 録	9

社協会費の使い道

社協会費は、この助成金交付以外に、区・自治会の福祉推進委員会への活動助成金交付や、地域福祉に関する情報発信など、市内の福祉活動推進のために活用されています。社協会費の募集は区・自治会ごとに取りまとめをお願いしています。ご理解とご協力をお願いいたします。

◆福祉教育推進校助成金について

1. 助成の目的

福祉のまちづくりのために、一人一人が他者理解や自己理解を通じて主体的に考え、行動を起こす第一歩となる福祉教育の実践に対して助成することを目的とします。

2. 助成対象の団体

高島市内の保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校

3. 助成の対象となる活動

- (1) 児童・生徒の福祉意識を醸成することを目的とする活動
- (2) 児童・生徒と地域住民を対象とした福祉活動
- (3) 社協等と連携して実施する福祉教育活動

※特に今年度は、休学中の子どもたちの学習の機会を増やす事業、新しい生活様式（身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いや「3密（密集、密接、密閉を避ける等）」を視野に入れた防災訓練やつながりを絶やさないための事業（新型コロナウイルス感染防止の中で「今できる」事業）などの活動をしていただけるといいですね。

4. 助成の額

総活動費の4分の3として、15,000円を上限とします。
(1,000円未満は、切捨てます。)

5. 助成の財源

福祉教育推進校助成金は社協会費が財源です。

福祉教育推進校助成金を受けて実施する活動は「社協会費」が財源であることを、学校（園）だよりなどに必ず明記してください。本てびき9ページの「付録」をコピーして切り取り、チラシ等広報物に貼付してください。

チラシなどに切り取って
貼付してくださいね。



6. 新型コロナウイルス感染対策について

- ①新型コロナウイルス対策については、厚生労働省や滋賀県、高島市からの最新の情報を参考に感染拡大防止に十分配慮して活動してください。
- ②マスクを着用したままの活動では、熱中症予防に十分配慮してください。
- ③新型コロナウイルスの感染拡大防止を理由として、やむを得ず事業の開催ができない場合の助成金の取り扱いは次のとおりです。
 - ・事業の開催に向けて事前に準備した費用は、助成対象とします。
 - ・事業の開催当日の助成対象となる経費でも、当日までにキャンセルができるものは、返金していただきます。

7. 助成金返金・活動計画の変更

- ①何らかの理由で活動（事業）が実施できない場合（3ページ「6. 新型コロナウイルス感染対策について」でもご確認ください。）
 - ②計画していた活動（事業）を変更し、助成金の返金が生じる場合
 - ③助成金の使途が大幅に変わる場合
- ※①②③が発生する場合は、担当職員までご連絡ください。返金に伴う手続きの方法は個別にお知らせします。

8. 提出期限

種 類	提出期限
申請・請求書	令和2年7月31日(金)
実績報告書	令和3年3月15日(月)

9. 助成金交付の流れ

6月下旬 交付のてびき、申請・請求書および実績報告書用紙の配布
学校長・園長様へ社協から送付します。



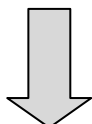
6月下旬～ 申請・請求書（様式1）のご提出
提出期限7月31日（金）（期限厳守でお願いいたします）
社協窓口（表紙参照）へご提出ください。



申請内容の審査をします。 不明な点など伺うことがあります。



8月 助成金交付決定額の通知送付と助成金の振込（8月20日振込予定）
交付決定額と振込額をご確認ください。



助成金の返金、事業計画を変更する時は、社協へ必ずご連絡ください。

事業終了後 助成金実績報告書（様式2）のご提出
（添付：事業のチラシ等書類、事業の写真）
提出期限：令和3年3月15日（月）（期限厳守でお願いします）
社協窓口（表紙参照）へご提出ください。



～4月 報告内容の審査ならびに確定通知の発送
社協から確定通知を送付します。
審査の結果、助成金を返金いただくことがあります。

令和2年7月15日

社会福祉法人高島市社会福祉協議会会長 様

1. 申請・請求

※ 提出期限 令和2年7月31日

学 校 名	藤樹小学校		
申 請 者 (学校(園)長等)	氏名	藤樹 一太郎 印	(連絡先担当者名) 高島 一子
	住所	〒520-0000 高島市藤樹500番地	TEL 〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇-〇〇〇〇
予 算	総活動費①	35,000 円	
助成金申請額※ (請求書)	(①の3/4の額、上限1万5千円)		15,000 円 ②

※助成金申請額は、1,000円未満は切り捨てです。

2. 予 算

必要な経費 (支出)	内 容	金 額	積 算 内 訳
	講師代	15,000	講師謝礼として5,000円×3回
	環境整備費	10,000	花の苗、土、プランター代
	材料費 (ネイサービスセンター訪問)	7,000	手作りプレゼント材料費
	広報代	3,000	チラシ紙代、コピー代
	合 計	35,000	

財源 (収入)	内 容	金 額	備 考
	社協助成金	15,000	※助成金申請額合計②と同額
	自主財源	20,000	
	合 計	35,000	

3. 振込み口座 (個人口座への振込みができませんので、学校の講座を記入してください。)

金融機関名 ●●銀行	支店名 安曇川支店	預金種別 (普通・当座)
口座番号 1234567	口座名義 【フリガナ】トウジュショウガッコウ 藤樹小学校	

口座名義等の確認のため通帳のコピーを添付してください。

必ずフリガナを書いてください

4. 活動計画 ※「歳末に行う活動」は、別途「年末年始地域たすけあい事業助成金」の申請をしてください。

時期	事業名	対象者（予定人数）	目的と内容
7月〇日	環境整備	小学3、4年生 (55人)	学校周りおよび、地域のふれあい広場などの清掃活動を行い、花の苗を植える。地域の方と清掃を通じて交流を図る。
9月〇日	福祉教育を実施	3年生(25人) ゲスト講師〇〇〇氏	聴覚障がいのある方から普段の暮らしの話を伺い、自分たちにできることを考える
10月〇日	福祉教育を実施	4年生(30人) ゲスト講師〇〇〇氏	視覚障がいのある方から普段の暮らしの話を伺い、自分たちにできることを考える
11月〇日	福祉教育を実施	5年生(40人) ゲスト講師〇〇〇氏	車いす使用者から普段の暮らしについて話を聞き、自分たちにできることを考える
2月〇日	高齢者プレゼント	小学1、2年生 (32人)	社会福祉協議会のテイサービスセンターを訪問、高齢者に手作りのプレゼントを手渡す。お年寄りとの交流を通じて福祉意識を養う。

5. ご意見欄（活動における課題や、社協に対するご意見など）

福祉教育を行う際の講師を紹介してほしい。

※提出締め切りは7月31日（金）です。添付書類：通帳のコピー

令和2年度 福祉教育推進校助成金 実績報告書

令和3年2月20日

社会福祉法人高島市社会福祉協議会会長 様

1. 実績

※ 提出期限 令和3年3月15日

学 校 名	藤樹小学校	
報 告 者 (学校(園)長等)	学校長氏名 藤樹 一太郎 印	(連絡先担当者名) 〇〇 〇〇〇
	住所 〒520- 〇〇〇〇 高島市 藤樹500番地	TEL 〇〇-〇〇〇〇
活動実績の合計額	総活動費① 40,000 円	
助成金の実績額	(①の3/4の額、上限1万5千円) 15,000 円 ②	
助成金決定額 (すでに交付を受けた額) ③	15,000 円	
返金額 (決定額③-実績額②)	円	

※助成金実績額は、1,000円未満は切り捨てです。

※実績額②が決定額③より多い場合は、職員にお申し出ください。

2. 決算

活動で使った経費(支出)	内 容	金 額	積 算 内 訳
	講師代	15,000	講師謝礼として5,000円×3回
	環境整備費	12,000	花の苗、土、プランター代
	材料費 (ネイサービスセンター訪問)	8,000	手作りプレゼント材料費
	広報代	5,000	チラシ紙代、コピー代
	合 計 (総活動費①)	40,000	

財源(収入)	内 容	金 額	備 考
	社協助成金	15,000	※助成金の決定額②と同額
	自主財源	25,000	
	合 計	40,000	

3. 活動実績

時期	事業名	参加者（人数）	内容と実施効果
7月〇日	環境整備	小学3、4年生 (55人)	学校周りおよび、地域のふれあい広場などの清掃活動を行い、花の苗を植える。地域の方と清掃を通じて交流を図り顔の見える関係性ができた。
9月〇日	福祉教育を実施	3年生(25人) ゲスト講師〇〇〇氏	聴覚障がいのある方から日常の困り事や生活上の工夫、手話等の伝え方を聞いて、聞こえる聞こえないに関わらず、伝えあうことの大切さや自分たちにできることに気づくことができた。
10月〇日	福祉教育を実施	4年生(30人) ゲスト講師〇〇〇氏	視覚障がいのある方から日常生活における工夫について聞き、出来る事と出来ない事は誰にでもあり、出来ないことを助け合う関係性をつくっていくことが大切だということに気づいた。
10月〇日	福祉教育を実施	5年生(40人) ゲスト講師〇〇〇氏	車いす使用者から普段の暮らしについて話を聞き、心のバリアフリーが大切ということに気づき、福祉のまちづくりについて視野が広がった。
2月〇日	高齢者プレゼント	小学1、2年生 (32人)	社会福祉協議会のテイサービスセンターを訪問、高齢者に手作りのプレゼントを手渡す。交流を通じて、施設利用者と児童・生徒との日常的な関係性に発展するきっかけとなった。介護職に興味を持つ者もいた。

4. ご意見欄（活動における課題や、社協に対するご意見など）

もっといろいろなボランティア活動を展開したいと考えているのでサポートをお願いしたい。

※添付書類：①活動実施の案内チラシ等の広報物 ②活動時の写真

付 録

※コピーして切り取っていただき、チラシ等広報物に表示してください。

きりとり線



きりとり線

この活動は住民の皆さまにご協力いただきました社協会費を財源として実施しています。



福祉推進委員会助成金のでびき、申請・請求書（様式）、実績報告書（様式）、財源記入例は、高島市社会福祉協議会HPからもダウンロードしていただけます。

<http://takashima-shakyo.or.jp/>



QRコード: スマートフォンのカメラで読み取ると、ホームページが表示されます。